

成田市環境基本計画 2020(令和2)年度 年次総括

各重点プロジェクトの進捗状況一覧

	項目	推進目標・指標等 2027(R9)年度	推進目標・指標等の状況 2019(R1)年度	推進目標・指標等の状況 2020(R2)年度
重点プロジェクトⅠ 生き物・里地里山の ふれあいづくり	継続的・定期的な動植物生息調査の実施及び情報の提供	第4次調査 (2024～2025(R6～7)年度予定)	-	-
	自然環境情報の発信	調査結果の情報発信 自然学習教材の提供	市ホームページに調査結果を掲載 イベント時に自然学習教材を提供	市ホームページに調査結果を掲載 イベント時に自然学習教材を提供
	生き物・里地里山の ふれあい拠点の選定	ふれあい拠点の募集・選定の実施 1拠点以上選定・活用	ふれあい拠点の選定 0件 来年度の拠点選定に向けて検討を進める。 坂田ヶ池総合公園及び市民の森について自然や生物とのふれあいが楽しめるよう園路や法面の修繕を実施	ふれあい拠点の選定0件 坂田ヶ池総合公園の選定に向けた調査・協議を実施 坂田ヶ池総合公園及び市民の森について自然や生物とのふれあいが楽しめるよう園路や法面の修繕を実施
重点プロジェクトⅡ エコライフによる 低炭素なまちづくり	エネルギー起源の 温室効果ガス(CO2)排出量	基準年:2013(H25)年度 2,049千t-CO ₂ 目標値:2030(R12)年度 1,730千t-CO ₂ 基準年度比約16%の削減	2016年度 2,117千t-CO ₂ 基準年度比3.3%増	2017年度 1,945千t-CO ₂ 基準年度比5.1%減 2020年11月にゼロカーボンシティ宣言を表明
	小・中学校太陽光発電整備率	71.0%	32.4% 達成率45.6%	41.3% 29校(大栄地区統合により5校分減少)のうち、12校に整備済み
	成田市地球環境保全協定への 参加事業所数	300事業所	181事業所 達成率60.3%	184事業所 達成率61.3%
	成田市環境保全率先実行計画 によるCO2排出削減	基準年:2016(H28)年度 60.03千t-CO ₂ 目標値:2020(R2)年度 56.03千t-CO ₂	50.61千t-CO ₂ 達成率110.7%	47.63千t-CO ₂ 達成率117.6%
重点プロジェクトⅢ 3Rによる循環型 まちづくり	ごみの総排出量	47,300t	53,761t 達成率88%	50,169t 達成率94%
	1人1日当たりのごみの排出量	938g/人・日	1,105g/人・日 達成率85%	1,041g/人・日 達成率90%
	ごみのリサイクル率	28%	16.9% 達成率60%	19.2% 達成率69%
重点プロジェクトⅣ 環境交流の まちづくり	なりた環境ネットワーク 加入団体数	81団体	73団体 達成率90%	69団体 達成率85%
	環境会議等国際交流の推進	関連する国際交流等と連携して 定期的に関催	なりた知っくとく出前講座で外国人留学生にごみの出し方について説明会を実施	ごみ分別等について外国人向けに動画を配信した
推進事務局 取組の成果と評価 及び今後の課題・方針 について	市の重点的取組における、取組の成果と評価及び今後の課題・方針については別添「2020(令和2)年度 成田市環境基本計画年次報告書」のとおり。			

成田市環境基本計画 2020(令和2)年度 年次総括

<p>環境審議会 質問及び意見に対する回答</p>	<p>別添「令和3年度第1回成田市環境審議会 環境審議会委員からの質問及び回答」とおり。</p>
<p>環境管理委員会 評価及び改善提案</p>	<p>各プロジェクトの取組において、推進目標・指標等の状況が未実施である項目や進捗が遅れている項目については、各担当課で連携を図り速やかに改善に取り組むこと。 具体的な改善提案については以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定外来生物について、近年では気候の変化により動植物の生息状況も変化し、新たな特定外来生物の侵入が想定される。こうした状況の中で、駆除などの適切な対応を早期に実施することで、広まりを抑えることは可能であるため、今後も情報収集に努め、適切な対応を実施すること。 ・ふれあい拠点の選定について、坂田ヶ池総合公園を候補として関係課等との協議が進められているが、今後も選定方法や時期などについて協議を進めていくこと。 ・森林保全活動推進事業は森林環境の保全に効果的であったと考えられる、高齢化等により今後の活動が難しいと考えられる団体も存在しているため、「里山ボランティア研修」の開催などにより、活動の担い手の発掘を引き続き行っていくこと。 ・民生部門におけるCO₂排出量の削減に寄与している、住宅用省エネルギー設備設置費補助について、他自治体の動向なども注視しつつ、新たな対象機器の追加についても検討するとともに、引き続き制度の周知に努め、省エネルギー設備の導入促進を図ること。 ・市の事務事業におけるCO₂排出量については、目標に向けて順調に推移している。今後も庁内における啓発活動を推進し、更なる省エネ・省資源に取り組むこと。 ・2050年までに市域における二酸化炭素排出量実質ゼロに向けて、来年度に控えている環境基本計画の見直しの中で、国の動向や他自治体の動向を注視しながら、地球温暖化対策の取り組みを検討していくこと。また、市における各施策の実施にあたりゼロカーボンシティ宣言の内容を踏まえて、推進していくこと。 ・ごみの総排出量は、コロナ禍の影響もあり大幅に減少した。雑がみ保管袋の配布などにより、雑がみを含む段ボールの回収量も増加している。引き続き広報や市のイベント等を利用した積極的な啓発活動に加え、分別ガイドブック・リサイクルの手引きを窓口や各支所・公民館等、及び出前講座等の説明会で配布することで、市民のごみに関する理解の促進に努めること。 ・事業系ごみの減量・資源化については、事業系一般廃棄物と産業廃棄物の適正分別を推進し、ダンボールや古紙などの紙類や、食品残さなど資源物としてのリサイクル推進、近隣市町村の状況をみながら処理手数料の見直しや新事業について検討すめること。 ・環境会議等の国際交流について、令和2年度については、ごみ分別等について初入国した外国人向けに動画配信を実施している。今後も、国際交流の観点を持ちながら環境施策に取り組んでいくこと。
<p>環境管理統括者 評価及び改善提案</p>	<p>各プロジェクトの取組において、推進目標・指標等の状況が未実施である項目や進捗が遅れている項目については、各担当課で連携を図り速やかに改善に取り組むこと。 具体的な改善提案については以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定外来生物について、近年では気候の変化により動植物の生息状況も変化し、新たな特定外来生物の侵入が想定される。こうした状況の中で、駆除などの適切な対応を早期に実施することで、広まりを抑えることは可能であるため、今後も情報収集に努め、適切な対応を実施すること。 ・ふれあい拠点の選定について、坂田ヶ池総合公園を候補として関係課等との協議が進められているが、今後も選定方法や時期などについて協議を進めていくこと。 ・森林保全活動推進事業は森林環境の保全に効果的であったと考えられる、高齢化等により今後の活動が難しいと考えられる団体も存在しているため、「里山ボランティア研修」の開催などにより、活動の担い手の発掘を引き続き行っていくこと。 ・民生部門におけるCO₂排出量の削減に寄与している、住宅用省エネルギー設備設置費補助について、他自治体の動向なども注視しつつ、新たな対象機器の追加についても検討するとともに、引き続き制度の周知に努め、省エネルギー設備の導入促進を図ること。 ・市の事務事業におけるCO₂排出量については、目標に向けて順調に推移している。今後も庁内における啓発活動を推進し、更なる省エネ・省資源に取り組むこと。 ・2050年までに市域における二酸化炭素排出量実質ゼロに向けて、来年度に控えている環境基本計画の見直しの中で、国の動向や他自治体の動向を注視しながら、地球温暖化対策の取り組みを検討していくこと。また、市における各施策の実施にあたりゼロカーボンシティ宣言の内容を踏まえて、推進していくこと。 ・ごみの総排出量は、コロナ禍の影響もあり大幅に減少した。雑がみ保管袋の配布などにより、雑がみを含む段ボールの回収量も増加している。引き続き広報や市のイベント等を利用した積極的な啓発活動に加え、分別ガイドブック・リサイクルの手引きを窓口や各支所・公民館等、及び出前講座等の説明会で配布することで、市民のごみに関する理解の促進に努めること。 ・事業系ごみの減量・資源化については、事業系一般廃棄物と産業廃棄物の適正分別を推進し、ダンボールや古紙などの紙類や、食品残さなど資源物としてのリサイクル推進、近隣市町村の状況をみながら処理手数料の見直しや新事業について検討すめること。 ・環境会議等の国際交流について、令和2年度については、ごみ分別等について初入国した外国人向けに動画配信を実施している。今後も、国際交流の観点を持ちながら環境施策に取り組んでいくこと。